

断層

大野小学校

TEL 54-0409

「成長」を実感する秋に 心の成長を促す時期です

『暑さ寒さも彼岸まで』
といったことわざにあるように、九月も彼岸を過ぎて、ようやく秋らしい気候になってきました。秋の風物詩でもある「曼珠沙華(彼岸花)」も一斉に咲き始めるとともに、「稲刈り」も本格的になり、黄金色の稲をコンバインで刈り取る様子をあちこちで見かけます。昔のように家族総出で稲刈りに汗を流す姿は見られなくなりましたが、こうした刈り取りの様子も秋の風物詩として心に留めておきたいものです。



さて、秋は、「実りの秋」と言われ、稲をはじめとして春から育ててきた様々な植物が、色取り取りに豊かな実を付ける時期を迎えます。

子供たちも同様に、秋は春からそれぞれの学年で身に付けてきた様々な「力」を発揮するには、気候的にも最適な季節です。二期に学校行事が多いのもそうした子供たちの様々な「力」を発揮できる場をつくっているためです。

二学期の大きな行事の一つである運動会は終わりましたが、今後も多くの行事を計画しています。子供たちにはその行事の一つ一つにチャレンジ精神をもって取り組み、やり遂げる経験を積むことで、自分の心身の「成長」を実感できる場面や機会になることを期待しています。

大野小学校 運動会

最後まで 優勝目指して 輝いた「大野っ子」



選手宣誓

九月十六日(土)、本年度の運動会を開催しました。残暑厳しい天候でしたが、たくさんの方の保護者の皆様方の温かいご声援をいただき、子供たちも最後まで全力で頑張ることができました。本当にありがとうございました。

最後まで 優勝目指して輝く 大野っ子

「素晴らしい運動会にしよう」「心に残る運動会にしよう」といったやる気が自主性や主体性となって表れていたのでしょうか。まさしくみんなが輝いた運動会でした。

また、運動会の取組は、色別の縦割りでの取組でもあります。上の学年が下の学年の模範となつて頑張る姿を見せることで、下の学年は来年の自分たちのあるべき姿を脳裏に焼き付けていきます。本年度も低・中・高学年ごとの入れ替え制で実施しましたが、それぞれ上の学年の子供たちはリーダーシップを発揮して下の学年を引っ張ろうとする姿が見られ、たのしく感じました。下の学年の子供たちも、みんな協力することの大切さを学んだように思います。



低学年 うらじゃ



子供たちも、みんな協力することの大切さを学んだように思います。

中学年 大野人ぬ宝(エイサー) 2023



学校では、運動会後には、こうした子供たちの頑張りを賞賛するだけでなく、「なぜ頑張れたのか」「なぜできたようになったのか」を振り返ることで、運動会に向けてみんなが積み上げた練習の成果であることや周りの人の応援のお陰であることを共有できるようにしています。また、「頑張ればできるようになることが増える」ということにも気付かせることで、自分自身の成長を実感できるようにしています。

高学年 大野ソーラン



保護者の皆様方には、子供たちの頑張りが成長をしっかりと認めるとともに、今後の活動に向けて、また意欲的に取り組んでいけるように、温かい声かけをお願いします。

合わせて、運動会後は季節の変わり目でもあることから、子供たちも体調を崩しやすい時期です。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症もまだ流行しています。お子様の体調管理には十分配慮してください。

稲刈り・いいそない体験(五年生)

九月二十二日(金)、五年生が、ここにクラブの皆さんにご協力をいただいで、「稲刈り及びいいそない体験」をしました。

毎年、五年生が農業体験の一環として行っている体験学習の一つで、六月の田植え体験から引き続き学習です。



子供たちは自分たちが植えた苗が大きく育っていることに喜びを感じながら手作業による稲刈りにチャレンジしました。最初はうまく鎌が使えなかったり、刈り取った稲を束ねる作業に苦戦したりしていましたが、ここにクラブの皆さんが、上手に声かけをしてくださり、最後まで刈り取ることができました。



その後、体育館に戻って「いいそない体験」をしました。「いいそ」は稲刈りをする際に稲を束ねるために使用する手作りの縄のことです。両手の手のひらで藁を縛って作ります。この手のひらで藁を縛う作業は初めて体験する子供たちには難しく、苦戦する子がたくさん見られましたが、ここにクラブの皆さんが一人一人丁寧に教えてくださり、自力で「いいそ」を完成させたときの子供たちの笑顔は輝いていました。



現在、稲刈りは効率化を図るためにコンバインを使つた刈り取り・脱穀が通常で、手作業だけの刈り取りや「いいそ」を使って稲を束ねることはなくなりましたが、子供たちにとっては「稲刈り・いいそない」といった日本の伝統文化に触れることができた貴重な体験となりました。

ここにクラブの皆さん、本当にありがとうございました。